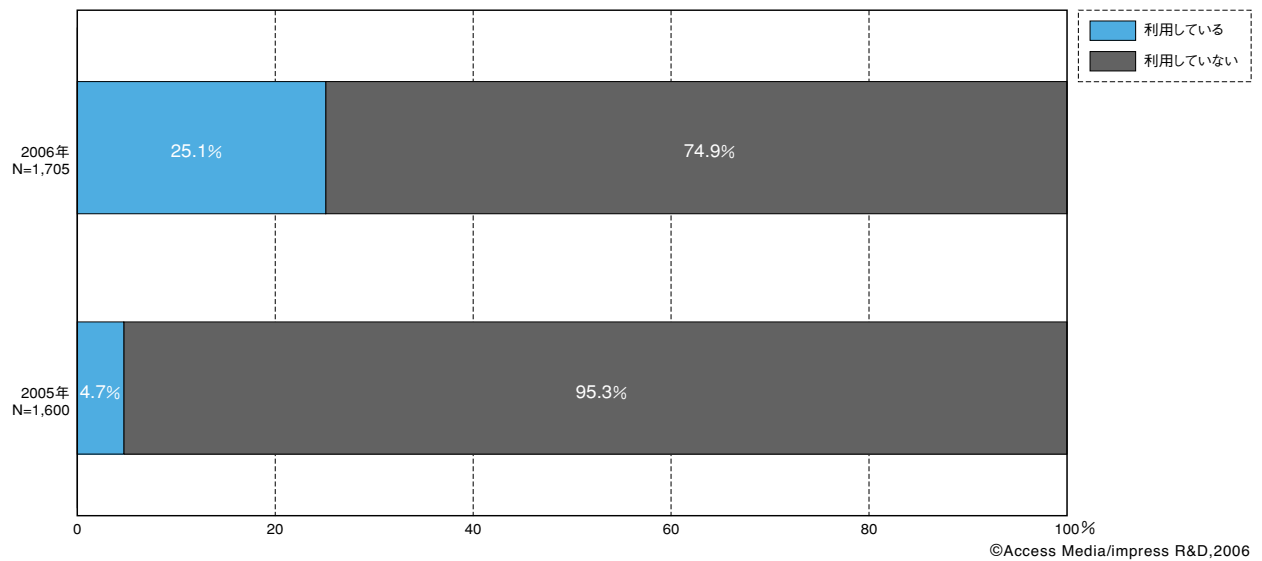


P2P

P2Pアプリケーション利用は25.1%

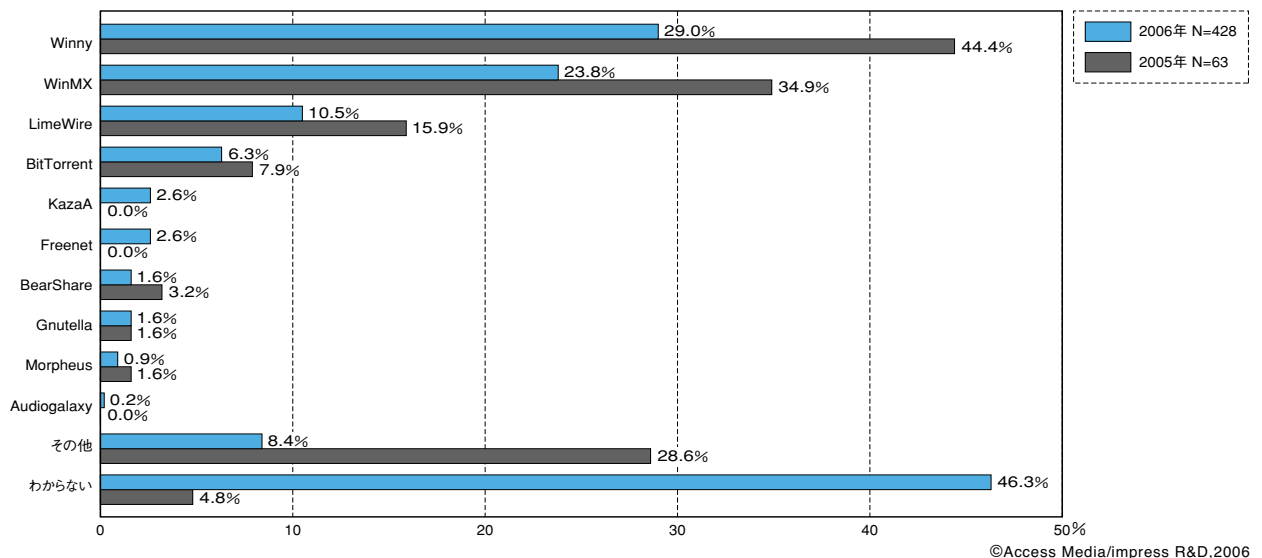
資料2-2-25 P2Pアプリケーションの利用状況 [2005年-2006年]



ファイル共有のためのアプリケーション利用状況について聞いた。P2Pアプリケーション利用率は25.1%で2005年の4.7%から大きく増加している。2006年はP2Pアプリケーションソフト一覧を表示させたうえで利用有無を聞いているが、2005年は、P2Pアプリケーションの認知と利用状況を聞いているため、設問方法が異なることに、留意されたい。

利用の主流は、前年比大幅減の「Winny」と「WinMX」

資料2-2-26 利用しているファイルシェアリングソフト (複数回答) [2005年-2006年]

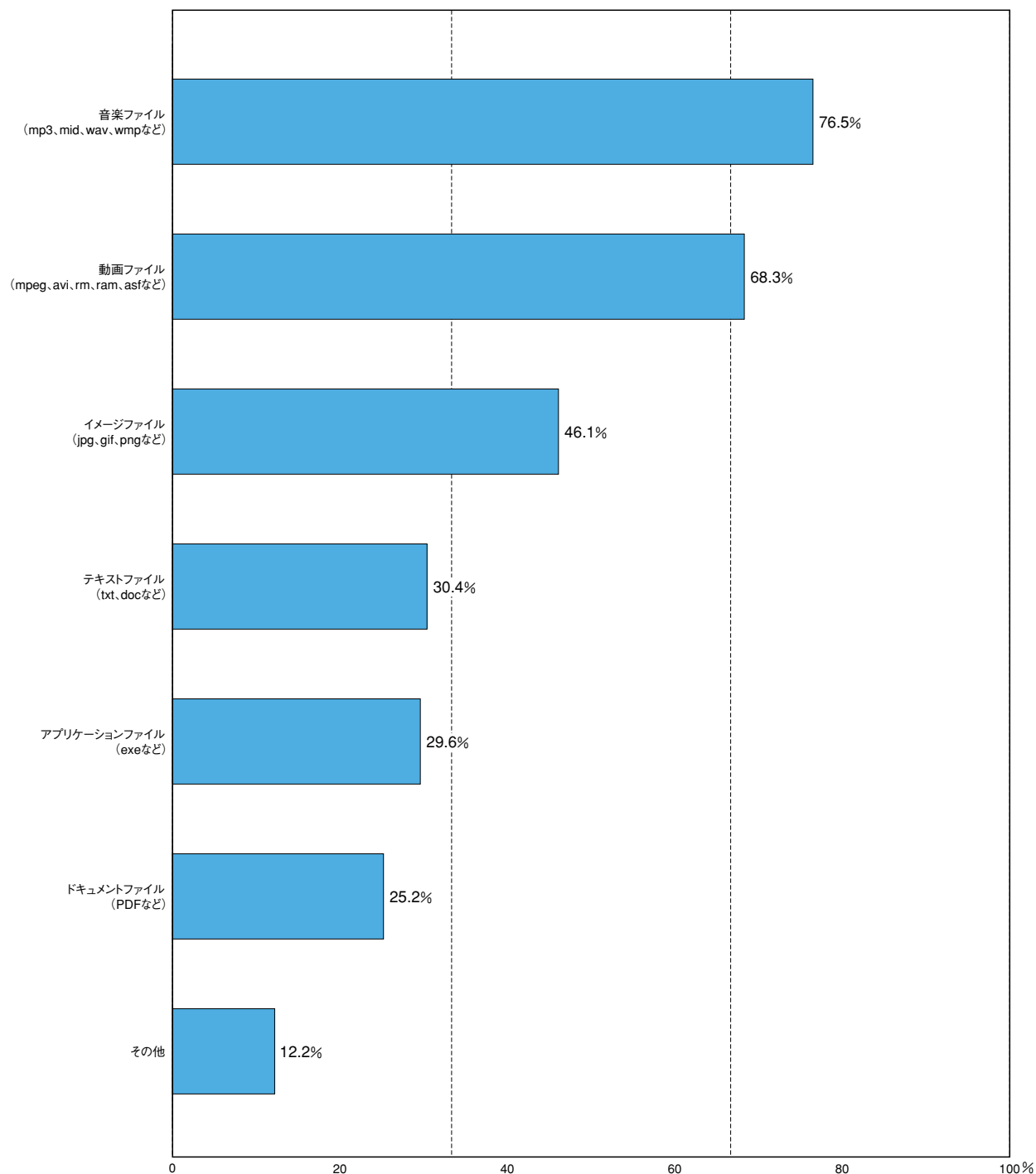


利用しているファイルシェアリングソフトは、2005年よりも大幅に利用率が減少している「Winny」(29.0%)、「WinMX」(23.8%)である。昨今の「Winny」による個人情報漏えいなどの問題から、P2Pアプリケーションソフトの利用制限が課されている状況ではあるが、利用率はトップである。利用者を性別年代別で見ると、男性の20代、30代、50代が多い。

P2P

P2Pで最も利用されているのは「音楽ファイル」76.5%

資料2-2-27 P2Pアプリケーションで共有・転送しているファイルの種類（複数回答） N=230



©Access Media/impress R&D,2006

P2Pアプリケーション利用者の230サンプルが共有・転送しているファイルの種類は、「音楽ファイル」の利用が最も高く76.5%、次いで「動画ファイル」が68.3%となっている。年代別で見ると「音楽ファイル」は、20代、10代、「動画ファイル」は、40代、10代の利用率が高い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp